

コープの森 あぶらひ

2016. 11. 21
生活協同組合コープしが

“森林ボランティア”を実施しました！

2013年10月に甲賀市甲賀町の「油日・上野生産森林組合」と結んだ「滋賀県森林づくりパートナー協定」から3年目を迎えました。2014年度から始まった森林整備ボランティアも今年で3回目となり、これまでの作業には延べ100名のボランティアが参加するまでに広がりました。

今回の作業は、「あぶらひ・上野生産森林組合」の広域に亘る区域の中で高間みずべ公園に近い、鈴原地区の1ha。午前8時に集まった12名の職員ボランティアが4台の「枝打ちロボット」を使って、混み合った杉林の枝打ち作業に汗を流しました。



早朝から集まった12名の職員ボランティアと「油日・上野生産森林組合」のみなさん。作業前に記念撮影。



手入れが進んでいない、混み入って薄暗い森の中へ。



森井統括から開催の挨拶につづき、「油日・上野生産森林組合」の西村組合長理事より、挨拶と注意事項の説明。

- 8:00 集合
- 8:20 挨拶・作業説明・作業現場へ移動
- 8:50 4班に分かれて「枝打ちロボット」を使った作業開始
- 11:30 作業終了・閉会式
- 11:40 下山 → 油日会館で昼食・解散

前日までの雨で足下の不安定な湿った傾斜の中、木から木への「枝打ちロボット」の付け替えに屈強(半分は中高年)?な職員も四苦八苦。しかし、作業を終える昼前には混み合っていた林の中から空が窺えるほど明るくなり、みんなが成果を実感することとなりました。



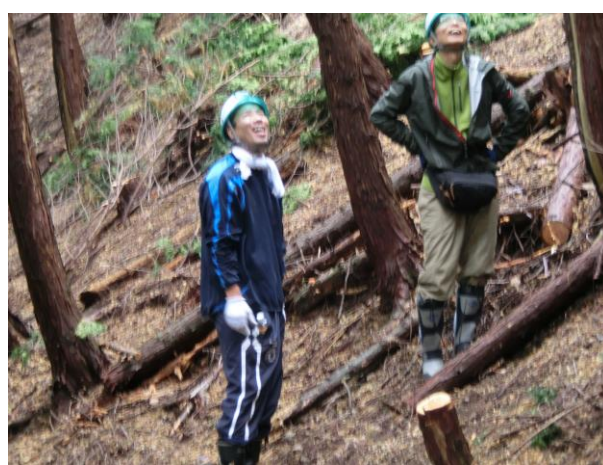
込み入って日差しが届かず、細長く伸びた杉。素人目にも手入れが必要なことが解る。



急斜面で「枝打ちロボット」を持ち上げるのは体力と細心の注意が必要。2～3人で呼吸を合わせながら少しずつ上まで持ち上げる。



枝打ちする木の幹にロボットを装着する。踏み張りの効かない柔らかい斜面での重いロボットの装着は体力を要する。



装着が終わればリモコン操作でロボットを操り、作業の様子を見守る。

どんぐりプロジェクト

進行中！

▽ 春季 クヌギ苗 植林ボランティア（予定）

「コープの森あぶらひ」では、戦後の木材需要に応えるために植えられた杉・ひのきの人工林の荒廃が進み、生産性の高いクヌギへの転換が計画されています。

来春、油日岳に通じる林道沿いの山林でドングリの苗を植林する計画を進めています。ご家庭で苗を育てていただいている組合員さんとともに、植林作業を行うボランティアの募集を行う予定です。

◆ と き 2017年 3月下旬～4月上旬頃（土曜日）

◆ 場 所 コープの森あぶらひ（油日岳登山道：甲賀市甲賀町油日忠次郎野）